

## 能代市総合計画市民協働会議提案

市と市民の協働により策定した能代市総合計画が平成20年度からスタートし1年が経過しました。

能代市総合計画市民協働会議では、計画の実行段階において市と市民の協働でより良いまちづくりをめざすため、総合計画に掲げた目標指標を用いてこれまでのまちづくりの進捗状況を市民の目で点検評価し、提案することを目的に検討作業を行いました。

まちづくりの活動実態の点検においては、行政だけでなく、市民や各種団体、事業者など、様々な主体がそれぞれに役割を担っていることが明らかになりました。

また、まちづくりの評価においては、多くの政策分野がめざす姿に向けて順調または現状維持で推移している一方、厳しい社会経済情勢を反映して、主に雇用創出や産業振興に関する政策分野においては思うように進んでいないという現状が明らかになりました。

こうした状況を踏まえて、計画推進のために重点的に取り組むべきもの、手法等を見直して取り組むべきものなどの検討を行いました。

これらの検討過程の中で、今後の取組の重要な視点として以下の指摘がなされました。

1. 総合計画策定時の「少子高齢化と人口減少、厳しい財政事情等の現状の中で希望あるまちづくりを進めるためには、市民の生活基盤の確立、ことに若者の定住に結びつく産業の創出や雇用の確保などの総合的な取組が極めて重要な課題である」との指摘は、地域社会の存続にかかわる重要かつ緊急の課題であり、他の分野に優先して重点的に取り組むべきである。
2. 市民すべてがまちづくりの担い手として参画するとともに、今いる人材や今ある資源を活用して効果を上げるためには、市民・団体・行政の連携と結束が必要であり、それを促進できる仕組みづくりと人材育成が重要である。
3. 身近な地域の課題を共有し、生活の質の向上をめざして、私たち市民が地域に根ざした取組を行うことが大切である。

以上を踏まえて、能代市総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、まちづくり評価書及び提案書を別添のように取りまとめましたので、提案いたします。

平成21年11月25日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議  
委員長 柴田 寛彦

能代市総合計画市民協働会議委員名簿

【50音順】

氏名	住所	備考
相沢 敏子	末広町	
安達 哲也	字不老岱	
安部 美恵子	落合	副委員長
越中 武美	能代町	A班サブリーダー
大倉 律子	常盤	
大槻 健吾	中和	
小笠原 達志	字下柳	G班サブリーダー
小栗 将子	落合	
勝原 節子	字田子向	
加藤 長光	二ツ井町字太田面	
金谷 正子	浜通町	
工藤 憲	二ツ井町飛根	
小杉山 久義	母体	
小林 アサ子	明治町	
小林 寛	常盤	
坂本 明子	御指南町	
櫻庭 富男	二ツ井町字太田面	
櫻庭 弘視	字長崎	
佐々木 博子	外荒巻	D班サブリーダー
佐藤 勲	仁井田白山	
佐藤 成子	常盤	B班サブリーダー
柴田 郁	住吉町	
柴田 寛彦	萩の台	委員長
嶋田 昭彦	字豊祥岱	
嶋田 節子	字寿域長根	C班サブリーダー
鈴木 隆誠	坂形	
田口 誠	落合	
武田 悟	字下野	
田村 清	落合	
田村 重由	字大瀬儘下	輝きとぬくもりのまち副分科会長、B班リーダー
徳田 章	字出戸後	
長門 俊夫	御指南町	
中村 浩三	落合	輝きとぬくもりのまち分科会長、C班リーダー
七尾 昌樹	二ツ井町字下野家後	元気とうるおいのまち副分科会長、E班リーダー
成田 潤哉	二ツ井町字下野家後	
成田 正文	二ツ井町種	
西村 省一	檜山	
根本 大輔	砂留山	安全と安心のまち副分科会長、G班リーダー
浜松 幹生	花園町	安全と安心のまち分科会長、F班リーダー
布施 久敬	字坊ヶ崎	
船山 捷治	万町	
松井 均	明治町	輝きとぬくもりのまち副分科会長、A班リーダー
見上 淳子	朴瀬	E班サブリーダー
宮腰 慶聡	南元町	元気とうるおいのまち分科会長、D班リーダー
山崎 昌子	松美町	F班サブリーダー
横山 亮子	能代町	
米川 譲	二ツ井町字下野家後	
渡邊 慶太	落合	
渡部 政喜	扇田	